

あさみ会報

朝見まちづくり協議会 あさみ会報編集部
発行責任者・鈴木三千夫
松阪市大宮田町209-4
朝見地区市民センター内
電話 0598-52-0007

2013.07.15 発行
第44号

朝見まちづくり協議会第8回定期総会を開催する。

新役職に会長に鈴木 三千夫 副会長に田端 孝・牧戸 博昭・橋本明・田上 勉史・公民館長・山路 隆生
防災部会長・田所 桂 福祉部会長・牧戸 美津子 監事・有滝 和光氏が新役職で就任する。
セーフコミュニティを目指し新体制でまちづくりを推進して行く。

(裏面に新体制を記載)

れからも一団となって朝見の人たちが、まちづくりに取り組んで頂きますようにお願い致します。松阪市も43地区まちづくり協議会が発足いたしました。これから地区上げて、まちづくり協議会があちこちで色んなことがぶつかって行くと思いがちですが、その中において朝見まちづくり協議会が一段と、まちづくりに対してリード役を果たして行けるように頑張っていきたいと思えます。

から大変苦しい時代が来るのではないか？まちづくり協議会がどんなふう朝見を盛り立てて行けばいいのかな？思っております。まあ、今までは、これからは、まちづくり協議会が、まちづくりをやっている、朝見の子供たちも成長していけばいいかな？と思っております。これから皆さん一緒に頑張ってもらって、まちづくりに取り組んで頂きますように、お願いさせていただきます。本当にありがとうございます。よろしくお願ひします。

第8回定期総会を開催する

平成25年6月1日(土)午後7時より朝見地区市民センター1会議室にて定期総会を開催しました。議事録の一部を載せます。

開会挨拶 田村 正 会長。

「みなさまこんにちは、大変お忙しい中また夜分に第8回朝見まちづくり協議会の定期総会において頂き誠にありがとうございます。また、山中光茂松阪市長さん市会議員田中裕治様お忙しい中、誠にありがとうございます。朝見のまちづくり協議会も発足して、8回目の定期総会を迎えることができました。本当に長いあいだやってきた訳でございますが、こ



また朝見地区も色々な問題抱えておまして、特に農業問題とそれから少子高齢化時代にどうして対処していけばいいのかなと考えております。特に、幼稚園に關しましては、今年で一応幼稚園は休園ということになっております。そんなことで段々人口が減っていく中で、どうすればいいのかな？また、農業問題もTPPの關係で、これ

挨拶 松阪市長 山中 光茂 氏

挨拶。「みなさま改めまして、こんにちは。本日は朝見のまちづくり協議会の総会、本当に皆様方に先ずは心からお喜びを申し上げます。朝見

挨拶 市議会議員 田中 祐治 氏。

「こんにちは田中でございます。今日は大変にご苦勞でございます。この朝見まちづくり協議会第8回目の定期総会開催に当たりまして

のまちづくり協議会さんは、この松阪市の中でもまちづくり対しても、モデルケースとしてですね、皆様方各種団体、若い世代から色んな形で役割を果たして、この朝見まちづくり協議会の防災訓練、また、まちづくりのあり方、色んな形を説明し全国から来て頂いた方にも説明して、全国のモデルともなる地域であると感じております。そういう朝見まちづくり協議会さんが、前向きに色んな形でご尽力頂いたおかげを持ちまして、松阪市43地域全域でまちづくり協議会が発足したところでございます。まちづくり協議会も最初から出来ていた掃水さん朝見さんの中川地区などですね、途中、計画の中で出来上がってきた所、そして新興のこの1年2年で出来上がってきた所、かなりですね色んな風に意識が違うところもございまして。逆にこの数年間で出来上がってきた所はですね、あまり枠組みがなく本当に新しい形で、最初は作る時に喧嘩譁々の議論で作る必要がないわと言う雰囲気のところ、実は出来上がってから新しい発想のもとで、色んな各種団体が本当に各種団体が集まってもらって議論をしたのとか、また、最近まちづくり協議会の総

なところで知り合いとか、お金持ちの知り合いとかおったら是非ふるさと納税してくださいと、その代わり松阪肉をあげますよと、あとは地域の農産物をあげますよと、そのようなキャンペーンを全戸配布のチラシで周知することによって、それぞれの方がみんな声をかけてお金を集めると、去年豊地地域で60万位、4万とか5万とかの小口の部分が集まって60万位独自で集める工夫もされていらっしやいますし、飯高の波瀬とかはスポンサーを集めたりとか。自分たちで汗を流してお金を集める。そういう工夫もかなり楽しみながらやっている地域もこの数年間は増えてきております。色んな形で企業と連携して行政も間に入って企業間連携の中でまちづくりを盛り上げていく、例えば今住民協議会さんにカラオケの200〜300万の通信カラオケが寄贈してもらえると、ある地域ではそれを活用して、ある地域では会費制を取って1ヶ月1,000円歌い放題として公民館活動として行政も間に入ってカラオケを寄贈する、但し通信費だけは払って頂いて、その部分を会費を集めて運営



「こんばんは田中でございます。今日は大変にご苦勞でございます。この朝見まちづくり協議会第8回目の定期総会開催に当たりまして

「こんばんは田中でございます。今日は大変にご苦勞でございます。この朝見まちづくり協議会第8回目の定期総会開催に当たりまして

「こんばんは田中でございます。今日は大変にご苦勞でございます。この朝見まちづくり協議会第8回目の定期総会開催に当たりまして

「こんばんは田中でございます。今日は大変にご苦勞でございます。この朝見まちづくり協議会第8回目の定期総会開催に当たりまして

山市長も臨席のもと多くの関係のご参集でこのように盛大に開催されました。とを、先ずもお祝い申し上げます。時の経つのは早いもので私が連合自治会長のさせて頂いていただいている間に、設立総会があったわけでご座います。あれからちょうど7年が経つて参りました。それまでの間、市長からご紹介のありましたように、今朝見まちづくり協議会は全国から非常に注目されており、大賞の受賞、そしてまたクローアップ現代等でも取材さ



れたことから、全国からの朝見地区に視察に訪れている訳でございます。先ほど市長がおっしゃいましたように昨年の4月に松阪市全域で43の住民協議会が一堂にスタートいたしました。他の住民協議会の役員からご相談をいただき、訳でございます。何で自治会があるのに住民協議会が必要なのやと言ふ事よく聞きます。それを考えてみますと朝見住民協議会の発足当時はそういう意見をかなりの方から受けてきました。まあそれを考えてみますと朝見まちづくり協議会もそういう意見をかなりの方から出てきま

した。と言ふことは他の住民協議会は、多分朝見より5、6年も遅れているのかなとそんな風にも考えておる訳であります。ここまで成長されて来ましたが、田村会長さんを始め役員の方々の賜であるとな風にも考えられております。この後、規約改正、役員改正もあるわけでございます。けれども、この長年に渡って培ってこられました。また、新しい手法等も取り入れて頂きまして、この朝見まちづくり協議会が更に発展されて行かれますことを祈念申し上げます。簡単でございますけれども、挨拶させていただきます。」



朝見まちづくり協議会



総会では、平成24年度事業報告、平成25年度事業計画予算を賛成多数で承認した。新体制を発表

役員会人事

運営委員会人事の紹介

- 顧問 田村 正(和屋) 橋本一男(上七見) 山崎 高裕(下七見) 会長 鈴木 三千夫(上七見) 副会長 田端 孝(和屋) 葛谷 光繁(大宮田) 北川 敏雄(朝田) 牧戸 博昭(朝田) 橋本 明(立田) 田上 勉史(立田) 会計 小林純一(佐久米) 書記 殿内 裕哉(佐久米) 公民館長 山路隆生(下七見) 地域策定委員長 櫻本 義讓(朝田) 事務局長 東出 照男(大宮田) 監事 永田 幸弘(西野々) 有滝 和光(立田) 以上が本部役員兼運営役員。次に運営役員を紹介いたします。防災部長 田所 桂(上七見) 安全防犯部長 安達 薫(上七見) 福祉部長 牧戸 美津子(西野々) 青少年育成部長 野林 恵利子(佐久米) 地域環境部会 小林 豊(古井) 委員 三田 眞一(朝田) 有瀧 悦之(立田) 澤田 郁夫(上七見) 長谷川 政治(下七見) 宮前 学(新屋敷) 小林 将郎(古井) 牧戸 正彦(西野々) 小林 順次(佐久米) 小林 正幸(大宮田) 西田 尚史(朝見小学校) 藤井 たみ子(地区寿会) 中西 徳生(大宮田) 田中 祐治(保護司) 牧戸 哲(西野々) 北川 登志子(和屋) 黒宮 浜子(和屋) 山路 邦夫(上七見) 早川 隆史(地区市民センター) 以上、名が運営委員会メンバーです。これからあさみ地区のために団結して頑張ってください。よろしくお願いいたします。

朝田寺牡丹まつりに協議会が田楽を販売



平成25年4月27日(土)



29日(月・祭日)

古刹の朝田寺牡丹まつりに合わせて、朝見まちづくり協議会が「あさみ田楽」を販売する。あさみ田楽は昔からの郷土料理として朝田町や立田町では木の芽が出るころに町内の組単位などでみんで食していました。山椒の芽吹く頃が稲作農業の始まりを告げる時期として、組などでコミュニケーションを取りながら農作業の段取りをしていたようです。地域を掘り起こしてまちづくりに役立てようと企画推進委員会が発案、まちづくり

協議会が設立されてから朝田寺の牡丹の開花時期に合せ協力を得て、郷土料理である「あさみ田楽(味噌田楽)」の販売がされるようになりました。今年で4年目を迎えますが、味噌だれが秘伝であり昔は家々によつて味が違いますが美味しい田楽として食されています。

物館北村淳一学芸員の協力を得て、魚の扱い方、魚の種類などを教えて貰い、それぞれが自分のバケツに、メダカフナ、ドジョウなどを入れて小学校の横を流れる水路に放流をした。昨年の秋に救出した児童が放流も行い元気に育っていた魚たちを水路に戻っていた。朝見地区は条里制の区割りされた田んぼや水路が残っており自然環境に恵まれた朝見地区ならではの活動である。それと共にこの自然環境に恵まれた事を利用して自然観察とともに、かけがえの無い命を守る命の大切さなどを知ってもらうために実施している。朝見まちづくり協議会、朝見小学校、美し国おこし事業として実地している。



岩手県大鏡町自治会長 中村会長の体験を聞いて平成25年4月10日(木)19:00(東黒部町ふれあいセンターにて開催。講演を聞いての感想)大鏡町は町長始め壊滅的な被害を受けた所です。その中で早くから大震災や大津波を想定して取り組みをしていた桜木町自治会は16名の方々が犠牲に遭われたようですが、日頃の取り組みや自治会活動が地域コミュニティの構築に大きく役立ち、自助、共助の精神が育まれて、未曾有の大災害を乗り越えて来ているとのことでした。自治会が長年にわたる防災に取り組みが現れている。実際に大災害に遭われた中村盛親自治会長のお話は悔しさと共に今日まで苦難の道なのであったが同われる。感銘を受けた言葉川自治会長に就任後

「全住民全員を守るのが会長の責任だと決意」この講演のお話を聞き、これまでの防災の取り組みが間違いないかと確認すると共に、更に今後の私たちの防災の取り組みに生かして行きたい(鈴木三千夫)



大植町から来られた講師・中村 盛親氏

災害時協力企業(事業所)の紹介

《朝見地区内の各事業所と災害時の救出作業の協力協定を行っています》

- (大宮田) 茂谷工務店・大徳建設株式会社・上川運送株式会社・JA 松阪農機センター
- (下七見) 東部建設株式会社 (朝田) 株式会社北川鉄工建設・葵クレーン (佐久米) 小林ファームライスセンター (立田) 宝山石油株式会社・中尾木材有限会社・株式会社ミック・鍛冶春建設有限会社・さくらテラス (古井) 有限会社松井工務店・耕産業有限会社・エムエフマツト有限会社・岡田園芸・株式会社サンカ機工 (新屋敷) 第一産業株式会社 (上七見) 鈴木農産・(和屋) スズキ産機有限会社・溝口土建・井上組・有限会社安達建設